



【むつ市脇野沢小学校とのリモート交流会&海藻おしば】

令和3年8月5日(木) 8:30~12:00

場所: 自然環境活用センター 交流室

スタッフ: 南三陸ネイチャーセンター友の会
南三陸町自然環境活用センター



脇野沢小学校のみなさんと一緒に記念写真を撮りました。

青森県むつ市脇野沢小学校とリモートで交流!

今回は、6月の調査隊の活動で交流したむつ市脇野沢小学校のみなとリモート交流をしました。画面越しに交流することにはじめは戸惑いもみられましたが、ゲームなどを通じて次第に慣れてくると、笑い声も飛び出すようになりました。隊員たちは、今年度の活動紹介や、南三陸の海藻の説明なども行い、南三陸町の魅力をしっかり伝えることができました。

活動の流れ

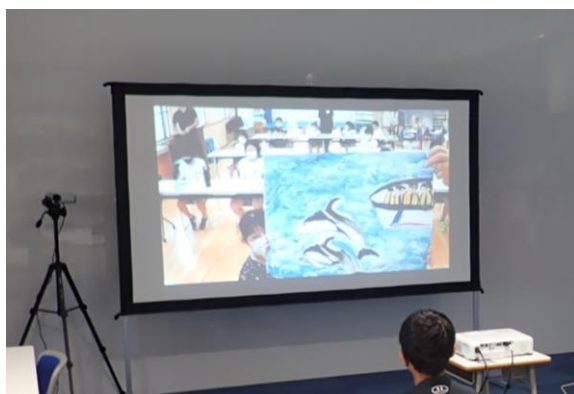
① オンラインで脇野沢小学校とつないで自己紹介

脇野沢小学校のみなさんと隊員たちがジャンケンをして、負けた方が自己紹介をするというアイスブレイクを交えた自己紹介をしました。なかなか勝てず苦戦していた隊員もいましたが、みんな楽しそうでした。



② 脇野沢小学校のみなさんの活動紹介!

脇野沢小学校の一年生から順番に活動紹介がありました。脇野沢のいいところやカマイルカのことを発表してくれました。



③ 調査隊メンバーによる活動紹介！

昨年作成した壁新聞をもとに、これまでの活動を振り返りながら、南三陸町の魅力を紹介しました。



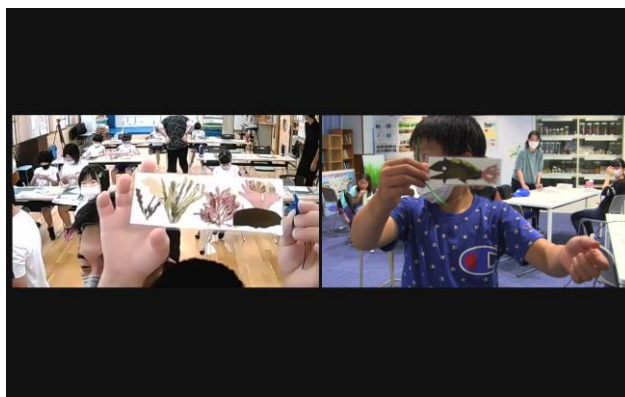
④南三陸の海藻と海藻おしぼの説明

調査隊メンバーが、南三陸には海藻が200種類以上あることや、海藻のカラフルさについて説明しました。みんな立派な発表でした。



④ 2つの会場で海藻おしぼの作成！

南三陸の会場とむつ市の会場で、南三陸産の海藻を使って海藻おしぼのしおりを作りました。志津川湾の恵みで作ったしおりが、大切な思い出になってくれたら嬉しいです。



【今後の予定】

9月23日（木）祝日：サップ（サーフィンボード）での海中観察

9月4日に予定していたスノーケリング海中観察ですが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、23日に延期になりました。また、感染拡大防止のため、活動内容を変更しサップ（サーフィンボード）を使用した海中観察になりました。ラムサール条約登録湿地「志津川湾」を代表する海藻の森や海草（うみくさ）の草原（「藻場（もば）」）を自分の目で見ることが出来る絶好のチャンスです！ぜひご参加ください！

